

高知県赤野川で撮影されたトサシマドジョウ

岡村恭平^{1,2}・高橋弘明³¹ 高知県林業振興・環境部² 高知大学理工学部海洋生物学的研究室³ 株式会社 相愛写真1 *Cobitis* sp. BIWAE type D トサシマドジョウ (赤野川, 2025 年 9 月 30 日撮影)

種の記録

Cobitidae ドジョウ科

Cobitis sp. BIWAE type D

トサシマドジョウ (写真 1)

生態写真

撮影年月日: 2025 年 9 月 30 日. 撮影場所: 高知県安芸市 赤野川 (本種の希少性に配慮し, 詳細な地点情報は記載しない).

種の特徴

写真個体は, 体高が全長に対して高い, 背鰭基部より前の L3 斑紋の太さが眼径とほぼ等しい, 最も前方の L5 斑紋が棒状である, 尾鰭基部の上下の斑紋が互いに離れる, 体色の白みが強いなどの点が, 高橋 (2015) が示したトサシマドジョウの特徴と一致したため, 本種に同定された.

備考

本種は高知県の固有種で, 伊尾木川, 安芸川, 和食川, 夜須川, 香宗川, 物部川, 国分川 (久万川含む), 鏡川, 仁淀川, 奥浦川, 桜川, 新荘川の 12 水系から記録があり, 近年の調査ではそのうち 8 水系に現存するとされた (高橋, 2015; 清水・高橋, 2017). 2017 年に, 第 1 著者はそれまで記録がなかった赤野川で本種を目視確認し, その情報は高橋 (2020) の分布域

に含められたが, 根拠となる物証はなかったため, 今回新たに撮影された水中写真に基づき報告する. 著者らは赤野川下流域を網羅的に調査しているが, 本種は同一箇所数個体確認されているのみであり, 水系内における存続基盤は脆弱な可能性がある.

引用文献

清水孝昭・高橋弘明. 2017. シリーズ・Series 日本の希少魚類の現状と課題 四国固有の希少シマドジョウ属魚類の現状と保全: ヒナイシドジョウ, トサシマドジョウ. 魚類学雑誌, 64(1): 65–69.

高橋弘明. 2015. 高知県におけるシマドジョウ属 2 種の分布・生息状況および形態的特徴. 日本生物地理学会会報, 70: 73–86.

高橋弘明. 2020. 連載 身近な生き物 トサシマドジョウ. 認定特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター NewsLetter, (69): 3–5.

(2025 年 10 月 24 日受付, 2025 年 10 月 29 日公開)

連絡先: 岡村恭平 (e-mail: nnaji.tosa@outlook.jp)
(Kyohei Okamura and Hiroaki Takahashi. 2025. Photographic record of *Cobitis* sp. BIWAE type D (Cobitidae) from Akano River, Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 25026)